

質問回答書

令和5年4月20日

質問の項目	質問の内容	回答
授業の受講者について	下記の各授業の想定対象人数を教えてください。 (1)小中学生向け起業・就業体験プログラム ※可能であれば小学生・中学生の比率も (2)高校生向け起業体験プログラム (3)大熊インキュベーションセンターと連携して実施する子ども向け講演・ワークショップ	今年度より実施する事業になりますので、受託者からの提案を受けた上で協議していきたいと考えています。 学び舎ゆめの森の生徒の他、一般公募を想定しています。（学び舎ゆめの森の生徒数は現在小学生15人、中学生3人になります。）
	「(1)小中学生向け起業・就業体験プログラム」について、対象の生徒の年齢は6～15歳となるため、内容・レベルを小学校低学年にも理解できる内容に合わせた場合、中学生向けには物足りない場合もあり得るかと思いますが、それは許容されますでしょうか？	グループ分けをするなど、工夫が必要と認識しており、受託者と協議の上、決定していきます。
	「(3)大熊インキュベーションセンターと連携する子ども向け講演・ワークショップ」の受講者の年齢層の想定はどれくらいか？	受託者と協議のうえ決定したいと考えています。
	「大熊町民である高校生」は現在、およそ何名いらっしゃいますでしょうか。	進学状況については把握していませんが、「平成17年4月2日～平成20年4月1日生まれ」の町民は309人になります。（令和5年4月17日時点）
	「(1)小中学生向け起業・就業体験プログラム」について、小学生向けと中学生向けを分けての授業実施も可能でしょうか？	可能です。
	小学生向けには「起業」の理解が難しいことが想定されるので、就業体験をメインで授業プログラムを組むでも大丈夫でしょうか？	可能です。

<p>授業内容について</p>	<p>起業体験で扱うビジネスモデルは下記のどのパターンを想定されていますでしょうか？</p> <p>①スタートアップでの起業 (新しいビジネスモデルで当たると大きい。リスク大。GAFa等がこのモデル)</p> <p>②スモールビジネスでの起業 (既存ビジネスモデルで小さく会社を立ち上げる。リスク小。中小企業に多いパターン。)</p> <p>③スタートアップ・スモールビジネスは特に問わず</p>	<p>人材育成の要素が強い事業になりますので、そこに該当すればどのパターンでも問題ありません。</p> <p>学び舎ゆめの森とも協議の上で決定していきたいと考えています。</p>
<p>授業実施項目・時間について</p>	<p>「学校のカリキュラム等を十分に考慮し、参加しやすいスケジュールを組むこと」とありますが、以下についてご教示ください。</p> <p>①土日を活用したプログラムは可能でしょうか</p> <p>②平日の放課後を活用する場合、何時までのプログラムが許容されますでしょうか。</p>	<p>①可能です。</p> <p>②学び舎ゆめの森と協議し決定させていただきたいと考えます。</p>
<p>その他</p>	<p>参加者の募集について、直接参加候補者と接点がない場合、大熊町や大熊インキュベーションセンター、学び舎ゆめの森様のご協力はいただけますでしょうか。</p> <p>「再委託」について、予め書面により町の承諾を得た場合は許容されるとありますが、提案に際し、一部コンテンツ提供の第三者委託を想定した提案をすることは可能でしょうか。</p>	<p>参加者の募集については受託者に実施していただきますが、大熊インキュベーションセンターや学び舎ゆめの森等への取次につきましては協力させていただきます。</p> <p>可能です。その場合事前の協議が必要になります。</p>